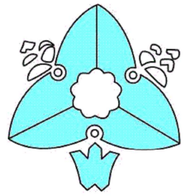
おもだかホームワーク

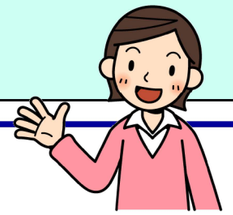
―家庭学習の手引き―



２０２２年度版

発行：天童市立寺津小学校

まなびづくり部



ね　ら　い

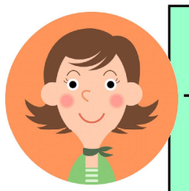
① 家庭学習では、自分で計画し、取り組み、振り返る力を育みます。

② 家庭学習では、教科書の音読、復習・予習、読書、習熟学習（漢字練習・計算ドリル）等に取り組みます。

③ 家庭学習では、集中して学習できる環境と時間を確保します。

④ 学習の仕方は「はげみ学習の時間」を中心に、学年の発達段階に合わせて、下記の姿を目標に指導します。

家でも毎日１０分間　読書に親しみます。



高学年

―予習や発展的な問題にも挑戦します―

・授業の予習

・発展問題にチャレンジ

・これからの学習の見通しを持って、はげみ学習を計画し、取り組みます。

中学年

―自主的な学習にも取り組んでいきます―

・間違った問題を、もう一度解いてみます。

・興味・課題に合わせて、はげみ学習で計画した学習

※漢字・計算・音読・日記　等には毎日取り組みます。

低学年

―家庭学習に取り組む習慣を作り、基礎・基本の力を育みます―

・教科書の音読　・漢字練習　・計算練習　・はげみ学習で計画した学習

※字は、マス目からはみ出さずに、つけ、とめ、はね、はらいに気をつけて、書きます。

※口を大きく開けて、はっきりした発音、大きな声で、音読します。

学習道具の準備

◎筆箱の中

・鉛筆４～５本
（１・２年２Ｂ　３～６年Ｂ又はＨＢ）

・消しゴム　１コ

・赤青鉛筆やカラーペン（黒板のチョークの色のもの）

・直線を引くための定規
（１５㎝程度の短いもの）

・油性ネームペン

３年以上は、学習内容に合わせて

・三角定規・分度器・コンパス

・３０㎝物差し、を準備します。

◎下敷きは、無地のものを使います。

◎学習に必要な教科書・ノートは、時間割を見て、忘れ物がないように、毎日、自分で準備します。

学習する場所

家庭学習をするときは、

・テレビ等の音の届かない

・ゲーム機を置いていない

・ノートやプリントが広げられるスペースのある

集中できる場所で行います。